

福島第一原子力発電所 土壌中のガンマ線核種分析結果

1. 測定結果 発電所構内における土壌のガンマ線核種分析結果は下表の通り。Puの分析を行った全試料について分析を行った。
2. 評価 平成21年度に福島県で測定した土壌のガンマ線核種分析結果は以下の通りであり、これと比較して高い濃度の放射性物質が検出されている。

< H21年度福島県による土壌分析結果 >

Cs-137:ND ~ 21Bq/kg・乾土, その他:ND

(単位: Bq/kg・乾土)

試料採取場所		【定点】*1 グラウンド (西北西約500m)*2	【定点】*1 野鳥の森 (西約500m)*2	【定点】*1 産廃処分場近傍 (南南西約500m)*2
試料採取日		3月12日	3月12日	3月12日
分析機関		日本分析センター*3	日本分析センター*3	日本分析センター*3
測定日		3月14日	3月14日	3月14日
核種	I-131(約8日)	ND	ND	ND
	I-132(約2時間)	ND	ND	ND
	Cs-134(約2年)	7.1E+04	4.6E+02	6.0E+04
	Cs-136(約13日)	ND	ND	ND
	Cs-137(約30年)	9.4E+04	6.3E+02	8.2E+04
	Sb-125(約3年)	ND	ND	ND
	Te-129m(約34日)	ND	ND	ND
	Te-132(約78時間)	ND	ND	ND
	Ba-140(約13日)	ND	ND	ND
	Nb-95(約35日)	ND	ND	ND
	Ru-106(約370日)	ND	ND	ND
	Mo-99(約66時間)	ND	ND	ND
	Tc-99m(約6時間)	ND	ND	ND
	La-140(約40時間)	ND	ND	ND
	Be-7(約53日)	ND	ND	ND
	Ag-110m(約250日)	ND	ND	ND

*1 「グラウンド」「産廃処分場近傍」は、過去のサンプリングが重ならないよう隣接地を採取。「野鳥の森」は同じポイントを深さ方向に採取(採取不可となった時点でポイント変更)

*2 1,2号機スタックからの距離

*3 日本分析センターにおける分析結果は、試料採取時までの半減期補正を行っていない